

範疇なのかなあ……。でも和歌山で見られる個体[写真 7]と比べると、やっぱり何か違う、上手く言葉に表せなくてもどかしいです。

エドハゼ[写真 8、9]は関西では初めましての魚です。一度関東で見たきりなので、まじまじと観察しました。そうすると、それぞれの個体の違いなどが良くわかるものです。吻が妙に尖っていたりそうで無かったり、体が細長かったり寸詰まりだったり。見慣れてしまうと、まじまじと観察することが少なくなりますが、実物を良く観察することの大切さを改めて思い知りました。



▲写真 7 : ビリンゴ(和歌山の個体)



▲写真 8 : エドハゼ



▲写真 9 : エドハゼ